

令和7年度第3回埼玉県立図書館協議会 議事録

◇ 日 時

令和8年3月5日（火）午後2時00分から午後4時30分まで

◇ 場 所

埼玉教育会館 201 さいたま市浦和区高砂3-12-24

◇ 出席者

（1）出席委員

伊藤あゆみ委員（オンライン）、本城千晶委員（オンライン）、阿部晴光委員、市川紅美委員、加藤美幸委員、五十嵐静江委員、植竹知子委員（オンライン）
新藤透委員、中田京子委員、中山浩二委員、橋本弥幸委員（オンライン）

（2）図書館職員

【熊谷図書館】

小西康雄館長、川目晴久副館長、高野治子副館長、飯島俊担当課長

【久喜図書館】

藤倉陽子館長、町田智副館長、関信子副館長、長島利弘司書主幹
小熊ますみ司書主幹、吉田奈緒子主任司書

（3）教育局職員

【埼玉県教育局】

江口大貴生涯学習推進課副課長

◇ 次第

- 1 開 会 [熊谷図書館副館長 川目晴久]
- 2 あいさつ 埼玉県立久喜図書館長 藤倉陽子
- 3 委員紹介
- 4 事務局職員紹介
- 5 会議録署名委員の指名

会長が、中田委員及び五十嵐委員を指名し、了承された。

※ 会議を公開することについての議決

会長が公開とする旨を発言し了承された。

また、本日の会議では傍聴者はいないことが確認された。

6 議事

(1) 埼玉県立図書館の障害者サービスについて

事務局から、資料1「埼玉県立図書館の障害者サービスについて」に基づき説明及び障害者サービス資料の実演。

【質疑】

中山委員：私が勤務する図書館で2026年度に「りんごの棚」を作ろうと計画しています。「りんごの棚」の普及とか啓発とか県立図書館で考えていることはありますか。

小熊司書主幹：「りんごの棚」は市町村立図書館でも多く作られています。昨年度実施した市町村立図書館との合同研修会では、「りんごの棚」をテーマに取り上げ、実際に「りんごの棚」を作っている図書館職員の方をお呼びしてお話を伺いました。それをきっかけに、「りんごの棚」の取組を始めた図書館がありました。また、「りんごの棚」を作るための見本にLLブックを見てみたいという相談を受けています。当館では、そのような相談があった場合には、実例を紹介するなどの対応を行っています。不明な点等がありましたら御連絡ください。

中田委員：音声デイジーの音声は、合成音声ではなく人の声ですか。

小熊司書主幹：はい。

中田委員：音声デイジーを聞いてみて、例えばNHKのニュースでAI音声を使って読み上げていますが、その読み方と非常に似ているなという印象を持ちました。今、聞いた音声は、人声の温かさというのを私はあまり感じなくて、今後、AIに置き換えるというところまで考えていらっしゃるのでしょうか。

小熊司書主幹：かなりAIも進歩してきておりますが、当館に在職する利用対象の当事者である職員に聞きますと、やはり現在のAIの自動音声と人の声というのは違って、自動音声だと長時間聞いていると疲れてしまうようです。今後、更にAIが進歩していくとどのようになるか分かりませんが、現時点では、やはり人の声が一番と思われます。テキストデイジーを自動音声にすれば早く利用者の方に提供することはできますが、時間がかかってよいので、人の声で読んでほしいという声を多くいただいております。

早く利用したいという方や自動音声でもよいという方には自動音声で

の提供をしています。やはり人間の声が一番だという方のために音訳者の養成と技術向上を更に進め、引き続き資料を提供していきたいと考えています。

中田委員：例えば、対面で資料を読んでほしいという場合は、やはり音声デイジーと同じような読み方になるのでしょうか。

小熊司書主幹：市販されているオーディオブックですと、情緒的に抑揚をつけて読んだりすることもあるようですが、音声デイジーの資料製作を行っている音訳者や対面朗読の音訳者は、利用者が音声を聞いて自然に理解できるような読み方の訓練を受けています。また、オーディオブックと違うところは、表紙や図表グラフなどの説明も行っており、音声デイジーの製作と同じように行っています。

五十嵐委員：現在は高齢者の方にもサービスを提供しているということですが、以前は基準が結構厳しく視覚障害の方に限定されていたと思います。音声デイジー資料を使うには専用の機器が必要ですが、機器自体の価格は高いと思います。視覚障害の方には補助がありますが、高齢者の方は機器をどうされているのでしょうか。

例えば、高齢者でなくとも本を読むことが難しいと思うのであれば、登録することでサービスを受けることができるのでしょうか。

小熊司書主幹：通常の活字による読書が困難ということを当館のバリアフリー読書推進担当に御相談いただいて、音声デイジーを御利用いただくことがよいのではないかという場合は障害者手帳などをお持ちでなくても登録をお受けしています。

また、機器が高額なためすぐに購入することが難しいとか、どのようなものか体験してみたいという方には、図書館が所有する機器をお貸ししています。利用してみて継続して使いたいという方は御自身で購入されることもありますし、音楽プレーヤーでもMP3に対応したものであれば、音声デイジーの全ての機能を使えるわけではありませんが、通読するとか、少し飛ばし読みをするとか速度調整することは可能です。そういったものを使用される方もいらっしゃいます。

五十嵐委員：希望する音声デイジー資料が県立図書館にない場合は、他の図書館にないか確認し、それでもない場合は資料を作るかどうか検討するという説明がありました。製作に取りにかかると、小説などの場合はどのぐらい

の期間で完成するものなのでしょう。

小熊司書主幹：本のページ数や内容の難易度にもよりますが、2年から3年の製作時間を要した資料も当館にございます。

サピエ図書館に登録している図書館の音声デイジー資料製作の着手状況が分かりますので、予約として承ります。製作をしている図書館がなく、利用者が希望する場合は、リクエストとして当館が製作対象とするか検討します。すぐに読みたいという方には、対面朗読を御紹介しています。

音声デイジーの製作工程は、音訳者が最初に読んで音訳校正の方が校正をして、次に音声デイジーの形にするためデイジー編集を行って、さらに、その編集を校正するという過程を経ていくので、通常は1年ぐらいかかるのではないかと思います。

加藤委員：障害者サービスの資料は、購入しようと考えても一般には市販されていないでしょうから、図書館の職員の方や音訳者の方の協力などにより製作することになるかと思います。見せていただいた布の絵本は、ボランティアの方などに御協力をいただいているのでしょうか。

実施している障害者サービスの個人利用者の方は全体で541人、そのうち視覚障害者以外の方は41人とありましたが、特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室でどのようなサービスをどの程度行っているか教えてください。

小熊司書主幹：布絵本につきましては、ボランティアグループに月2回ほど図書館に来ていただき、布絵本の製作をお願いしています。

音声デイジー、マルチメディアデイジーにつきましては、図書館協力者が製作をしています。また、点字図書についてはボランティア団体である埼玉県点訳研究会に、久喜図書館で選定した図書の点訳をお願いしています。

布絵本の利用点数は令和6年度97点です。

利用状況は特別支援学校、特別支援学級、放課後デイサービスの団体にお貸ししています。

特別支援学校には、久喜図書館の子ども読書推進担当で依頼を受け、学校を訪問し図書室運営相談等を実施しています。今年度、バリアフリー読書推進担当が対応した事例はありませんが、過去には子ども読書推進担当に同行して、バリアフリー資料の説明をさせていただいたこともあります。

関副館長：補足をさせていただきます、今年度、特別支援学校の図書館に関する運営相談について、子ども読書推進担当が対応した事例もありました。

加藤委員：音声デイジーやマルチメディアデイジーなどの依頼はないのですか。

小熊司書主幹：布絵本が主となっています。今年度、総合教育センターで実施している教員研修に合わせてバリアフリー資料の展示を行ったところ、国語科の教員の方から「授業で使えそうですね」とマルチメディアデイジーに興味を持っていただいたケースもありました。地道な活動ではありますが、マルチメディアデイジーなどを知っていただく機会となりますので、今後も行っていきたいと考えています。

新藤副会長：2点ほどお伺いします。県立熊谷点字図書館と県立図書館との連携や役割分担というのはあるのでしょうか。

また、熊谷図書館、久喜図書館では対面朗読を実施しているということですが、市町村立図書館でも対面朗読を行っているのでしょうか。

東京都の事例ですと、区市町村立図書館では一般書を対象として対面朗読を行っていて、都立図書館では専門書を対象としていると記憶しています。7年前ぐらいになりますが、都立図書館を見学させていただいたときに、「日本庶民生活史料集成」という1960年代に出版された本で、江戸時代の原文をそのまま活字にしたものがあり、それを対面朗読の対象にしていました。埼玉県でも専門書は県立、それ以外の一般的な資料は市町村立というような対応はされているのでしょうか。

小熊司書主幹：まず熊谷点字図書館と県立図書館の役割分担ですが、点字図書館は主に一般的なベストセラーなどを多く製作しています。県立図書館では市町村立図書館や点字図書館であまり製作しない専門的な資料などを製作するようにしています。

先日、点字図書館の方を含めた関係団体との会議がありましたが、点字図書館は特に機器利用などの支援に力を入れていて、調べものをしたいという方がいらっしゃったときには、県立図書館を紹介していますとおっしゃっていました。

対面朗読については、特に市町村立図書館との役割分担を明確にしているません。しかし、県立図書館は専門書を所蔵していますので、専門的な本の対面朗読の依頼が比較的多いのではないかと思います。また、調べもののために資料の一部分を読んだり、対面朗読を行ったりしながらレファレ

ンスを行うということもあります。

まだ、現状では全ての市町村立図書館で対面朗読が行われているという状況ではありませんので、対面朗読が広がっていけば、県立は専門書、市町村立は一般書というようになっていくことも考えられます。なお、県立図書館では専門書の対面朗読の依頼があった場合は、その分野になるべく詳しい音訳者をお願いするなどの配慮をしています。

(2) 埼玉県立図書館の健康・医療情報サービスについて

事務局から、資料2「埼玉県立図書館の健康・医療情報サービスについて」に基づき説明。

【質疑】

中山委員：61 ページのスライド 27 に市町村立図書館への訪問相談で「情報の鮮度を考えて、除籍や除架を頻繁に行うべきか」という相談があったと記載されていますが、FAQなどで相談内容等を一般に公開されているのでしょうか。

吉田主任司書：他の図書館へも公開したいとは考えていますが、現状では行っておりません。御質問のケースでは、図書館の状況により除架のサイクルも変わってきます。例えば、病院図書室では内容が古くなるので5年程度で除架されていると聞いていますが、公共図書館で同じような扱いは難しいと思います。

また、書庫がいっぱいであるとか認知症に関する取組の御相談など図書館の状況によりアドバイスの内容も変わってくるため、一定の基準はなく、その相談結果を公開するのは難しいかなと考えています。

中山委員：健康・医療情報は主に高齢者向けになると思いますが、若年層などに対するサービスはあるのでしょうか。

吉田主任司書：令和4年3月に健康・医療情報講演会で「依存症」を取り扱ったことがあります。その講演会は高齢の方だけでなく、広い年齢層の方に御参加をいただけるよう企画しました。また、令和5年度には同じく健康・医療情報講演会において「耳の聞こえ」をテーマに取り上げましたが、高齢になって耳が聞こえなくなるというだけではなく、ヘッドホンを恒常的に使用することで若者も難聴になりやすいという情報があり、担当内でテーマを決めた経緯があります。

また、妊娠、出産などの医療情報は適齢期の方はもちろん、高齢出産についても提供する必要があります。健康・医療情報について県民の方に関心を持っていただくため、広い年齢層を対象にしたテーマの掘り起こしを行っていきたいと考えています。

少し以前になりますが、平成 30 年度に健康・医療情報講演会で「がんと生きる -AYA(あや)世代がん患者の体験談を聴く」として、若年層のがん患者の方に向けた情報提供も行っています。関連の調べ方案内のリーフレットを作成し、学校図書館やイベント等で配布しています。

五十嵐委員：医療情報の提供はすごく難しいとは思っていましたが、本日の説明を聞きまして改めて難しいと思いました。特に、介護医療関係の情報支援は難しいと思いました。

中山委員から御質問がありましたが、除籍や除架についてお聞きします。閲覧室の健康・医療情報コーナーには、より新しい資料を配架することが望ましいと思いますが、県立図書館では資料を配架する際の基準等はあるのでしょうか。

吉田主任司書：県立図書館では資料を原則除籍しないので、古くなった健康・医療情報の資料は書庫で保管して、健康医療情報コーナーの鮮度を保っております。

ただし、鮮度は5年というスパンではなくて、もう少し長いスパンでとらえています。新版が出たものについてはすぐに差し替えをしますが、関連の良書については、例えば出版社が倒産して、代わるものが他社から出版されない場合などは、情報が古くなったとしても個別の判断で配架するなどをしています。

五十嵐委員：久喜図書館にはバリアフリー読書推進担当や子ども読書推進担当などありますが、健康・医療情報は自然科学・技術資料担当だけで担当しているのでしょうか、それとも久喜図書館全体で推進しているのでしょうか。

吉田主任司書：自然科学・技術資料担当では、図書館学4類に当たる数学、科学や地学など科学全般を担当しています。その一つに医学分野があり、健康・医療情報サービスを担っているという体制となっています。

五十嵐委員：それは自然科学・技術資料担当の中に健康・医療情報専門の担当者がいるということでしょうか。

吉田主任司書：自然科学・技術資料担当全員で健康・医療情報サービスを担っています。

五十嵐委員：久喜図書館には自然科学・技術資料担当以外にどのような担当があるのですか。

吉田主任司書：自然科学・技術資料担当以外に、芸術・文学資料担当、新聞・雑誌担当があり、この3担当が大人のレファレンスや貸出業務・カウンター業務などを行う担当で、市町村立図書館との資料や情報のやりとり等をしている情報・地域協力担当があります。そのほかバリアフリー読書推進担当と子ども読書推進担当が図書館サービスを行っています。予算管理や施設管理を行う総務担当もあります。

中田委員：県立図書館で扱っている専門資料を選定するのは大変だと思います。特に健康・医療情報サービスは命に関わることもあるので、資料を探す医療関係者が必要とするものを選定するというのは大変なことだと思います。選定に関しては健康・医療に関する専門知識が必要になると思うのですが、資料に関して相談や監修をする医療関係者の方はいらっしゃるのでしょうか。

吉田主任司書：県立図書館では資料収集・整理を熊谷図書館で一括して行っています。健康・医療資料の選定に当たっては自然科学・技術資料担当と適宜確認や相談をしながら、選定を進めています。外部の方にアドバイスを定期的に求めて、監修してもらっているということはありませんが、例えば、医療関係の雑誌が休刊になってしまい、追加でアレルギー関係の雑誌を新しく入れたいというときは、図書館職員の知識だけでは調べ切れないことや判断が難しいこともあります。そのようなときには、連携している病院図書室の方に相談をしたり、アドバイスいただいたりするケースがあります。

中田委員：現状では、例えば医療関係者からこの資料が欲しいという依頼に、ある程度、応えられているということでしょうか。

吉田主任司書：どの程度、応えられているかは難しいですが、看護学校の学生から、「このテーマで看護学の研究をしたいのですが資料はありますか。」という相談をいただくことや、看護関係資料の閲覧、貸出が非常に多いことから、一定のニーズは満たしていると思っております。

また、健康・医療関連のデータベースを提供していることが強みになっ

ております。検索後、該当する文献を入手する方法などのサポートを行っています。

医療関係者の依頼に全て応えられているというものではありませんが、一定のニーズは把握できていると考えています。また、健康医療の分野によっては十分ではないところもありますので、今後も引き続き資料の充実に努めていきたいと考えています。

長島司書主幹：補足させていただきます。久喜図書館の利用者で看護師と思われる方が長期にわたって定期的に資料を利用されています。そのようなことから、必要な資料が提供できていると考えています。

規模の大きな病院は、医療関係の研修プログラムや看護師としてステップアップする研修なども整っていると聞いています。一方、診療所やクリニックにお勤めの看護師の方は、看護協会などの研修プログラムを受講されています。そのため研修とは別に、日常業務で必要な情報を図書館で入手しているのではないかと考えています。

医療技術のテクニカルな情報は必ずしも提供できるとは限りませんが、県民の方からコメディカルの方を対象として資料を収集していますので、診療所勤務の方などの御希望にも、ある程度は対応できているのではないかと考えています。

中田委員：大まかな対象を決めて、資料を揃えるというふうに考えればよろしいですか。

長島司書主幹：はい。

加藤委員：資料 41 ページから 45 ページにがん情報や発達障害、認知症など県民の関心の高いようなコーナーの紹介があり、とても良いと思いました。

特にがん情報などは、がん患者会の案内も兼ねて人と人がつなげられるような取組をされているのがとても良いと思いました。例えば、妊活・出産・育児情報コーナーでは、育児サークルなどがあるのでそういったところを紹介することで、人と人とがつながるきっかけになっているのかなというふうに思いました。

また、資料 54 ページには県の疾病対策課と保健体育課との連携でがん教育が取り上げられています。がん教育は各学校で実施しなければならないもので、保健体育課主催でがん教育指導者研修会が年 1 回行われており、それを機会に学校でがん教育の推進が図られていると思います。一方、各

学校の養護教諭はがん教育のマニュアルを参考にしたり、校医さんから情報を得たり、養護教諭で研修会なども行っています。久喜図書館でがんに関する資料や調べ方の支援をしていることをPRしていただけると、より知りたい情報を入手することができてよいと思います。また、大学では心理学科において養護教諭や看護師を志望している学生も健康・医療情報を求めているので、大学にもPRをされるとよいのかなと思いました。

新藤副会長：埼玉県立図書館は、この健康・医療情報サービスが全国的に見ても突出して素晴らしいのではないかと思います。もちろん埼玉県立図書館の障害者サービス担当も大変全国的に有名ですが、障害者サービスと健康・医療情報サービスに関しては、全国で見ても高い水準を維持しているのではないかと改めて感じた次第です。

その上で、例えば認知症情報コーナーというのは、令和元年から開設されているということで、例えば一步進めて、埼玉県立図書館で心理療法である回想法などを実施してみるという考えはあるのでしょうか。というのは初期の認知症患者に対する回想法は、結構、図書館で行っているところが最近増えており、私の知っている事例では京都市、品川区が行っているようです。ほかにも回想法を行っている図書館はあると思いますが、県立図書館として情報の提供だけでなくケアの方まで挑戦してみるということは、将来的にお考えなのでしょうか。

吉田主任司書：平成29年2月に、認知症と回想法に関する講演会、資料展を久喜図書館で開催したことがあります。講演会は「思い出語りで元気になる！脳を活性化する回想法入門」という演題で講演をいただきました。

回想法の第一人者である回想法ライフレビュー研究会代表 中嶋恵美子先生をお招きしてお話していただき、大変評判が良く、多くの方に御来場をいただきました。また、県立図書館は古い資料を多数所蔵しています。紙芝居ですとか、古い音源とか、校歌などを回想法の資料展のときに御紹介しました。このような資料が回想法に役立ちますという資料提供は行った事例がありますが、図書館を会場にして回想法を行ったことはありません。ニーズが高い分野なので、今後何かできるか検討していく余地があると考えております。

新藤副会長：除籍については極力慎重に行っているという説明でしたが、利用者が書庫の本を閲覧して、古い医学情報を入手して、新しい情報に気付かな

かった場合、例えば高血圧の基準値は、昔と現在では結構違っていると思いますが、そのような誤解を招いてしまうおそれはないのでしょうか。

吉田主任司書：図書館では、いらっしゃる方が、御自身の健康・医療について調べたいのか、医療の研究のために調べたいのかということは分かりません。もしかすると、古い情報を今の情報と誤解するといったケースもあるかもしれません。図書館で健康・医療情報に関するレファレンスなどのサービスを行うときには、図書館で基準を設けていまして、一定の年数までの資料を紹介するとか、利用者の御要望により古い資料を紹介する必要がある場合は、古い資料と新しい資料を合わせて御覧いただくよう案内をしています。

植竹委員：フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日を看護の日としていますが、その日に病院や看護協会で無料の血圧測定や健康相談イベントなどが開催されていると聞いています。そのようなイベントに参加するのもよいかと思います。

吉田主任司書：先ほど外部イベントで御紹介させていただいた県立がんセンターが、開院50周年を記念して同じような趣旨で開催されています。病院の方がいろいろブースを出しており、その中にはその場で検査値が分かったりするというものもあり非常に好評だったようです。そこに久喜図書館も参加させていただき、大変良かったと感じています。同じように「看護の日」などに機会がありましたらできるだけ出向いて、一緒に加わらせていただきたいと思います。

長島司書主幹：補足させていただきます。資料19ページが県民向けイベントについて説明しています。御説明しました3つのイベントは、2つの目的で出展しています。

まずウェスタ川越、県民の日に開催される県庁オープンデーは、図書館に今まで馴染みのなかった方、図書館ユーザーでなかった方を呼び込みたいことから、県民の方向けのイベントに出展しています。

一方、埼玉県立がんセンターのオープンホスピタルは、病院で開催しているイベントですので、病院関係者や患者さんとその御家族、また、看護学校の学生や看護師を志望している高校生が参加していることから、健康・医療サービスに比較的関心のある方に対する案内をしています。

この2つを考えて、出展する先を選択しております。

また、イベントのブース出展をしなくても久喜図書館の資料を配布していただくということは、かなり頻繁に行っております。

県民の方に図書館ユーザーになっていただきたいことと、健康・医療情報を必要としている方たちに情報を提供することを意識して、イベント出展に取り組んでいます。

伊藤委員：説明をお聞きして感想をお伝えします。同じ久喜市内の小学校に在籍していて久喜図書館で健康・医療情報について充実した取組があることを初めて知りました。

自分でも来館し、資料や取組を見たいと思います。医療関係の方が行かれているということで、幸手市に看護学校があるので、そういう方たちにとってすごく頼りになっていると思います。

会議前半の障害者サービスは、小学校でも総合的な学習の時間などで福祉について学習をしています。久喜図書館と連携が取れ、健康・医療情報の様々な取組が行われていることを子供たちに知らせることができたらよいなと思います。

吉田主任司書：ぜひ御利用いただければうれしく思います。

(3) その他

埼玉県立久喜図書館紹介動画の視聴。視聴に先立ち藤倉館長から説明。

【質疑】

中田委員：おはなしボランティア指導者養成講座を久喜図書館で受けた関係で、年に何回か講師等をさせていただくのですが、1階の子ども図書室へ行くとすぐに研修の時間になってしまい、研修会場の会議室や視聴覚ホールへ直接移動していたので、今日、初めて公開図書室を見せていただきました。こんなに広いのだなという感想です。前回の協議会で熊谷図書館を見せていただいて、ちょっと思ったより小さかったなっていう印象でしたので比べて申し訳ないのですが、久喜図書館の子ども図書室以外の施設も見ないといけないなと今思いました。今度、久喜図書館に伺うときには早めに行って、見せていただこうと思いました。

新藤副会長：これはホームページで紹介するという予定はあるのでしょうか。大変素晴らしい動画ですので、ぜひホームページにアップしていただけたらと思います。

阿部会長：私も、本当に分かりやすいなと思いました。

藤倉館長：ありがとうございます。動画は、本日の協議会会場が浦和になったため、急きょ、職員で製作したものでございまして、職員以外の方に見ていただくのは本日が初めてです。とても温かいお言葉をいただきましたので、ホームページに掲載する方向で進めてまいりたいと思います。

事務局から、資料3「図書館と県民のつどい埼玉2025の開催結果について」に基づき説明。

新藤副会長：参加者1,121名程度に対してアンケートの回答数が137、有効回答数120と若干少ないような気がするのですが、何か理由はあるのでしょうか。

飯島担当課長：こちらの参加者数というのが延べ人数になっていまして、各イベントに参加された数を足したものになります。そのため参加者数に比較しアンケート回答数が大幅に少なくなっています。また、アンケートですので御協力いただけなかったという方もいらっしゃいます。

中田委員：この図書館と県民のつどい埼玉にビブリオバトルがあるのだと、とてもうれしく思いました。しかも15校が参加ということで、これは各中学校でビブリオバトルに取り組んでいるということなののでしょうか。ビブリオバトルを実際に中学校で何かの授業の中で、そういう取組があつて、だからそのルールを知っていて参加する、そういうことを把握していらっしゃいますか。

飯島担当課長：全ての学校で取り組まれているのかは把握はしていませんが、中学校で決勝を行って優勝者を派遣したいので申込みを待ってくださいというお問合せは何件かいただいております。

それが例年参加していただいている学校ということもありますので、地域や学校でビブリオバトルを行事として組み入れていただいて、その上位入賞者の生徒に「図書館と県民のつどい埼玉」のビブリオバトルに出場していただけているという場合もあるかと思えます。

中田委員：何か地域の偏りなどがあるのでしょうか。

飯島担当課長：申し訳ありませんが、そのようなデータは手元にありません。

7 閉 会

以上

令和7年度第3回埼玉県立図書館協議会次第

◇日 時 令和8年3月5日(木)14時00分から

◇場 所 埼玉教育会館 201

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 事務局職員紹介

5 会議録署名委員の指名

6 議 事

(1)埼玉県立図書館の障害者サービスについて

(2)埼玉県立図書館の健康・医療情報サービスについて

(3)その他

7 閉 会

埼玉県立図書館協議会 委員名簿

選出分野	ふりがな 氏 名	現 職 名 等	出欠	備考
学校教育 関係者	いとう あゆみ 伊 藤 あゆみ	久喜市立本町小学校長	Teams	
	ほんじょう ちあき 本 城 千 晶	県立北本高等学校長	Teams	
社会教育 関係者	あ べ はるみつ 阿 部 晴 光	さいたま市立中央図書館長	○	
	いちかわ く み 市 川 紅 美	(一社) 埼玉県文化団体連合会理事	○	
	さかい えみこ 阪 井 栄見子	埼玉県地域婦人会連合会常任理事	欠	
家庭教育 関係者	かとう みゆき 加 藤 美 幸	埼玉県家庭教育振興協議会理事	○	
学 識 経 験 者	いがらし しず え 五十嵐 静 江	元草加市立中央図書館副館長	○	
	うえたけ とも こ 植 竹 知 子	(株) ピーアイピー代表取締役	Teams	
	しんどう とおる 新 藤 透	國學院大學教授	○	
	なかた きょうこ 中 田 京 子	公募委員	○	
	なかやま こうじ 中 山 浩 二	公募委員	○	
	はしもと みさき 橋 本 弥 幸	(株) 埼玉新聞社社員	Teams	
	やまもと たつ や 山 本 達 也	元県立本庄特別支援学校長	欠	

※敬称略。選出分野ごとに五十音順 令和7年7月1日現在

令和7年度第3回埼玉県立図書館協議会出席職員名簿

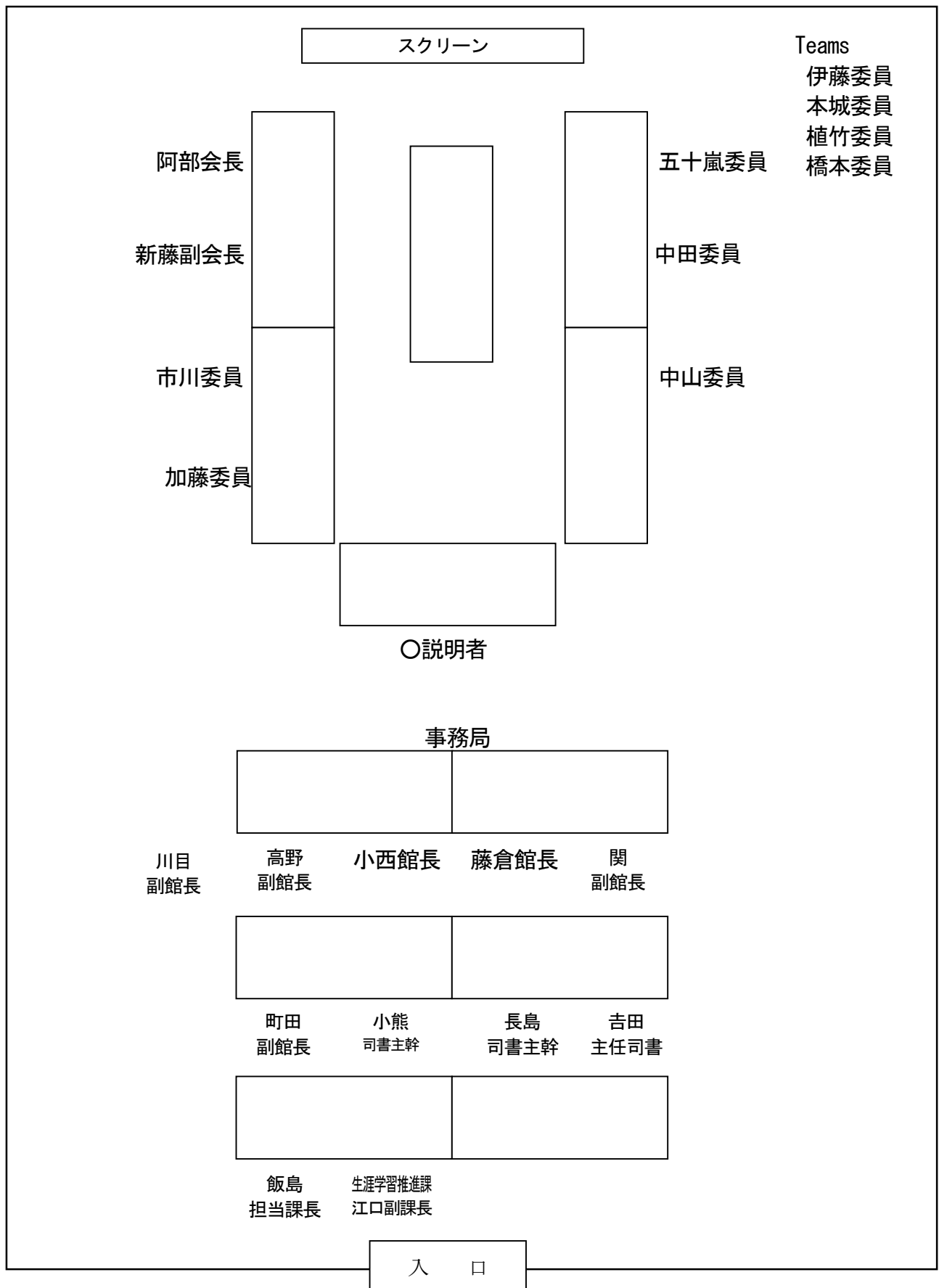
所 属	職 名	氏 名	備 考
埼玉県立熊谷図書館	館 長	こにし やすお 小西 康雄	
	副 館 長	かわめ はるひさ 川目 晴久	
	副 館 長	たかの はるこ 高野 治子	
	担 当 課 長	いいじま しゅん 飯島 俊	
埼玉県立久喜図書館	館 長	ふじくら ようこ 藤倉 陽子	
	副 館 長	まちだ さとる 町田 智	
	副 館 長	せき のぶこ 関 信子	
	司 書 主 幹	ながしま としひろ 長島 利弘	
	司 書 主 幹	おぐま ますみ 小熊 ますみ	
	主 任 司 書	よしだ なおこ 吉田 奈緒子	
埼玉県教育局教育総務部 生涯学習推進課	副 課 長	えぐち だいき 江口 大貴	

令和7年度第3回埼玉県立図書館協議会座席表

令和8年3月5日（木）

14:00～

埼玉教育会館 201



令和7年度 第3回埼玉県立図書館協議会資料

埼玉県立図書館の 障害者サービス

令和8年3月5日
埼玉県立久喜図書館
バリアフリー読書推進担当

目次

- 1 埼玉県立図書館における障害者サービスの特徴
- 2 障害者サービス用資料の紹介
- 3 実施しているサービス、事業
- 4 市町村立図書館への支援
- 5 学校等への普及活動
- 6 今後の課題と取組

I 埼玉県立図書館における障害者サービスの特徴

(I) 障害者サービスの歴史

- ・昭和27年～ 点字資料貸出（旧浦和図書館）
- ・昭和50年～ 録音図書の製作と貸出（旧川越図書館）
- ・昭和55年～ 久喜図書館でサービス開始
- ・平成15年～ 久喜図書館がサービスの中心館に
- ・令和2年～バリアフリー読書推進担当と担当名を改称
専任司書6名（うち、視覚障害のある司書1名）

I 埼玉県立図書館における障害者サービスの特徴

(2) 目的

○活字による読書の困難な人々へのサービス

「活字による読書の困難な人」とは

- ・視覚障害者、高齢で目の不自由な人 ⇒ 活字が見えない
- ・ディスレクシア等の発達障害者 ⇒ 文字を視覚的に認識できない、しづらい
(文字が繋がって見える、歪んで見える)
- ・肢体不自由等で物理的に本を利用できない人
⇒ 本が持てない、ページがめくれない

○障害者手帳の有無にかかわらず、誰もが使える図書館

Ⅰ 埼玉県立図書館における障害者サービスの特徴

(3) 障害者サービス用資料の製作

音訳者・デイジー編集者・点訳者と協力しながら資料を製作

(4) 市町村立図書館の障害者サービス支援

研修会の実施・運営相談・研修講師派遣

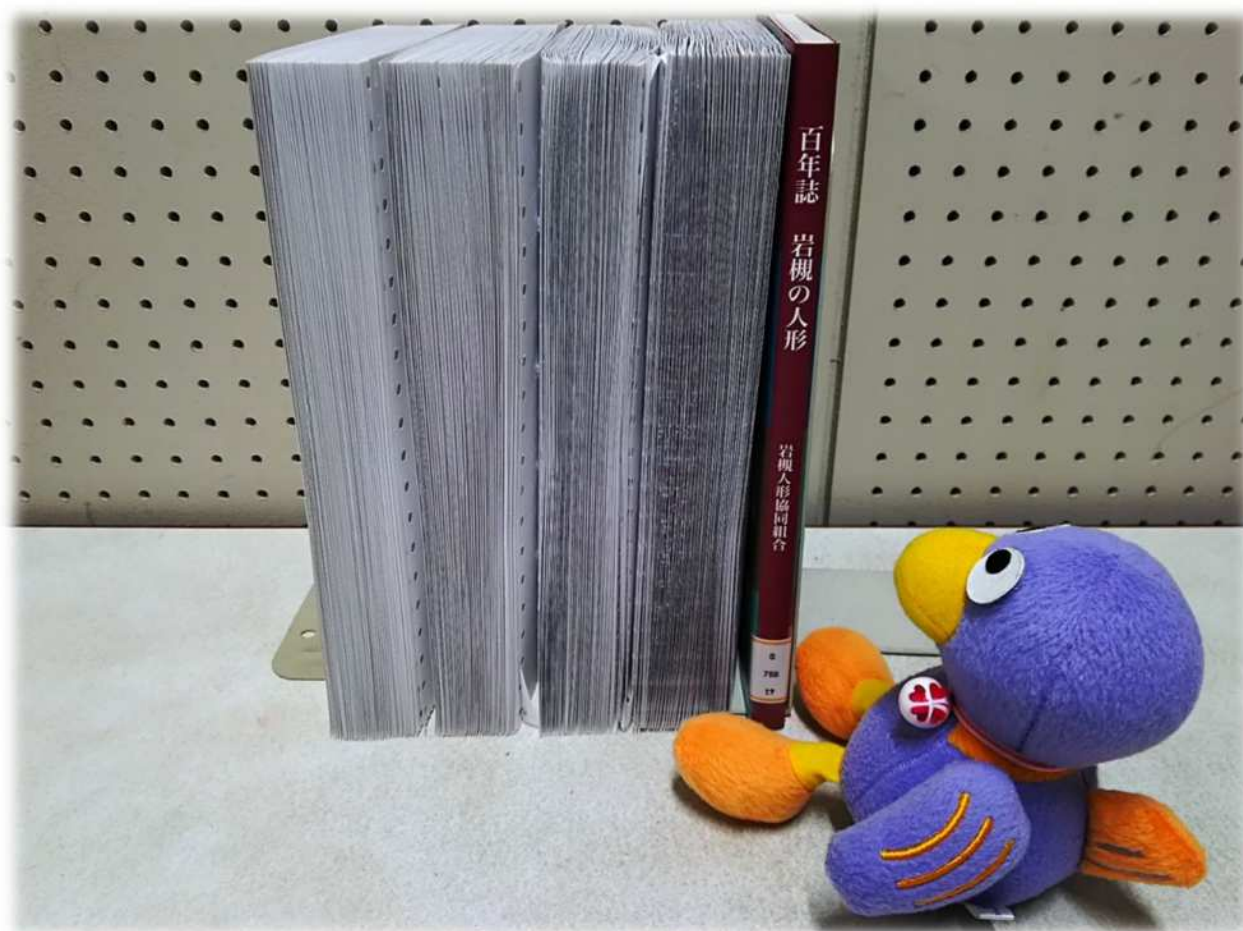
(5) 発達障害者など活字による読書の困難な人へのサービス拡大

マルチメディアデイジー図書製作と普及活動

2 障害者サービス用資料の紹介

(1) 点字図書

活字の資料を点訳したもの。
点字図書は全国の図書館から取り寄せることができる。
また、「点字データ」は、点字ディスプレイや音声パソコンなどで利用できる。



2 障害者サービス用資料の紹介

(2) 音声デイジー

活字を読むのが困難な方が
利用するための音声版の図書や雑誌。
読みたいところへ飛んだり、
スピードを変えて再生することができる。
全国の図書館のネットワークを使って
取り寄せて聞くことができる。
専用の再生機・パソコン・タブレット
のほか、一部のMP3（音楽ファイルの形式）
対応のCDプレイヤーでも再生できる。



2 障害者サービス用資料の紹介

(3) マルチメディア デイジー

音声と文字と画像を合わせて読むことができる図書。
読み上げのスピード、文字の色や大きさ、背景の色など、使う人の読みやすい環境で読むことができる。
パソコンやタブレットで再生できる。



『ごん狐』（日本障害者リハビリテーション協会製作）

2 障害者サービス用資料の紹介

(4) LLブック

やさしく分かりやすい文章で書かれている本。ピクトグラム(絵文字)なども合わせて表示しているものもある。

発達障害や知的障害等の、文字が分かりにくい人のための図書。(子供のための本ではなく、年齢に合わせた内容になっている)



『仕事に行ってきます①
クッキーづくりの仕事』
(埼玉福祉会)



『病院へいこう』 (Sプランニング)

2 障害者サービス用資料の紹介

(5) 布絵本

フェルトなどの布で作られた手作りの絵本。
ボタンをはずしたり、ファスナーをしめたり、ひもを結んだりして、視覚・触覚・聴覚を同時に刺激することができる。
様々な障害のある子供たちのための資料。



『おめめをあけて』（のぐちみつよ作・埼玉県立久喜図書館製作）

2 障害者サービス用資料の紹介

(6) 障害者サービス用資料の入手方法

①購入

- ・販売されているものは僅か
- ・購入できるもの→大活字本、LLブック、点字図書、点字つき絵本、音声デイジー、マルチメディアデイジー、布絵本

②図書館から借りる・ダウンロードする

- ・全国の公共図書館や点字図書館が製作した資料を、最寄りの図書館経由で借りることができる
- ・視覚障害者の場合、点字・録音資料の郵送料は無料
- ・障害者サービス用資料の検索・データベースサイト「サピエ図書館」(※1)「みなサーチ」(※2)からダウンロードができる

2 障害者サービス用資料の紹介

※1 サピエ図書館（全国視覚障害者情報提供施設協会）

視覚障害者及び視覚による表現の認識が困難な方々に対して点字、デイジーデータを提供するネットワーク

図書館などを通じて個人利用登録をすると、この点字・デイジーデータを、全国どこからでもダウンロードでき、多様な資料を手にすることができる。「オンラインリクエスト」を利用すると、簡単な操作で自宅から点字図書や録音図書の貸し出しを図書館に依頼できる。

※2 みなサーチ（国立国会図書館）

目の見えない方・見えにくい方、活字の図書を読むのが難しい方など、様々な障害のある方が、利用しやすい形式の資料を探することができるサービス。

点字、DAISY、テキストデータ、大活字本、LLブック、電子書籍、バリアフリー映像資料などの資料が検索できる。

3 実施しているサービス、事業

(1) 利用者数

①個人 541人(令和8年1月末現在)

内、視覚障害者以外41人

②全国の点字図書館・公共図書館、県内の特別支援学校、
特別支援学級等

3 実施しているサービス、事業

(2) デイジー・カセットテープ・点字資料の貸出

① 貸出方法

- ・郵送：視覚障害者への郵送は無料
- ・窓口貸出：視覚障害者以外（発達障害者など）
- ・市町村立図書館窓口からの貸出
- ・国立国会図書館「サピエ図書館」「みなサーチ」を通じた資料提供サービス

3 実施しているサービス、事業

②資料別貸出数の推移（タイトル数）

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (1月末)
音声デイジー	14,129	12,102	11,649	8,922
マルチメディア デイジー	10	8	4	6
点字	924	864	808	577
カセットテープ	26	14	6	5

3 実施しているサービス、事業

③当館資料の国立国会図書館みなサーチからのデータ送信

	R4年度	R5年度	R6年度	令和7年度 (上半期)
音声デイジー	6,228回	6,889回	5,333回	2,485回
マルチメディア デイジー	400回	415回	540回	313回
点字	2,684回	364回	290回	88回

3 実施しているサービス、事業

(3) 対面朗読

- ①視覚障害者等が資料を読むことを保障するもの
(県立久喜、熊谷両図書館で実施、
音訳者の手配は県立久喜図書館で一括して実施)



対面朗読室

3 実施しているサービス、事業

②年間利用時間

	R4年度	R5年度	R6年度	令和7年度 (1月末)
熊谷	87時間	188時間	221時間	180時間
久喜	219時間	347時間	325時間	197時間
合計	306時間	535時間	546時間	377時間

3 実施しているサービス、事業

(4) 点字・音声デイジー・マルチメディアデイジー資料の製作

① 資料製作の考え方

リクエストの内、全国どこにも製作館がなく、かつ比較的専門的な内容のものを製作

市町村立図書館からの依頼による製作

音声デイジー雑誌の継続製作

マルチメディアデイジーは絵本や児童書を中心に製作

3 実施しているサービス、事業

②音訳者・デイジー編集者の協力による資料製作

令和7年度登録 音訳者 59人

デイジー編集者 11人(4人が音訳者と重複)

③製作数(令和6年度)

点字図書 7タイトル

デイジー図書・雑誌 43タイトル

(内、マルチメディアデイジー 10タイトル)

※資料製作や対面朗読には時間単位で謝金を支払い

3 実施しているサービス、事業

(5) 新規音訳者養成講座（令和5～6年度の2年計画で実施）

①令和5年度 募集と選考、初級講座 25回

②令和6年度 中級講座20回、資料製作実習8回

修了者18人



3 実施しているサービス、事業

(6) その他

- ①音訳者、デイジー編集者の研修等
- ②障害者サービス用資料の資料展・体験会
教職員向け研修会などへの出張展示
- ③障害者サービス用資料目録の作成
印刷版・点字版・デイジー版など、利用者の希望する媒体で
送付

4 市町村立図書館への支援

(1) 市町村立図書館への支援

- ① 図書館からの種々な質問への対応
- ② 来館による運営相談、見学、視察
- ③ 研修会講師の紹介、当館の職員、音訳者・デイジー編集者を講師として派遣

(2) 市町村立図書館との協働事業

- ① 職員研修会の企画・実施
- ② 埼玉県障害者サービス実態調査の実施・公表
- ③ 県内製作情報
(埼玉県公共図書館 新着録音・点字図書情報)

5 学校等への普及活動

- (1) 小学校の体験学習
- (2) 中学校の職場体験
- (3) 総合教育センターにおける特別支援学校担当教員研修でのサービスの案内・資料展示・動画提供
- (4) 「図書館と県民のつとめ埼玉2025」
「県庁オープンデー」「ウェスタ川越 県民ふれあいフェスタ」
における資料展示と職員によるサービス案内

5 学校等への普及活動

総合教育センター
特別支援学校担当教員研修資料展示
6月～12月(5回)



図書館と県民のつどい埼玉2025
12月14日(日)



5 学校等への普及活動

県庁オープンデー

11月14日(金)



ウェスタ川越 県民ふれあいフェスタ

11月2日(土)



6 今後の課題と取組

課題①

音訳技術の継承

新規音訳者の音訳技術向上と既存音訳者への活動支援

取組

- ・新規音訳者へ積極的に音訳対面朗読を依頼
- ・ベテラン音訳者に専門的な資料作成を依頼

6 今後の課題と取組

課題②

市町村立図書館への支援

活字が読みにくい人たちが地域の図書館で
十分なサービスが受けられるように支援

取組

- ・市町村立図書館の運営相談
- ・市町村立図書館職員向けの研修や講師派遣等

6 今後の課題と取組

課題③

障害者サービス用資料の製作と普及活動

マルチメディアデイジー、音声デイジー、点字資料を
継続して製作するとともに、必要としている人
へ届ける

取組

- ・他館や民間の状況を踏まえた資料製作
- ・製作した資料の共有
- ・必要としている人に届けられる広報手段の検討

29

ご清聴ありがとうございました！



令和7年度 第3回埼玉県立図書館協議会資料

埼玉県立図書館の 健康・医療情報サービス

令和8年3月5日(木)
埼玉県立久喜図書館
自然科学・技術資料担当

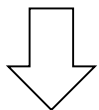


目次

- 1 健康・医療情報が求められている理由
- 2 県立久喜図書館が行っているサービス
- 3 利用者のヘルスリテラシー向上のために
- 4 様々な機関との連携
- 5 市町村立図書館への支援
- 6 今後の課題と取組

！健康・医療情報が求められている理由

治療は医師にお任せ



医療界に変化

- カルテ開示
- インフォームド・コンセント
患者が医師から十分な説明を受け、
合意したうえで治療法を選択すること
- 患者・市民自らが選択・決定する時代に

個人情報保護法
2005年4月1日施行

第5次医療法改正
2007年4月1日施行

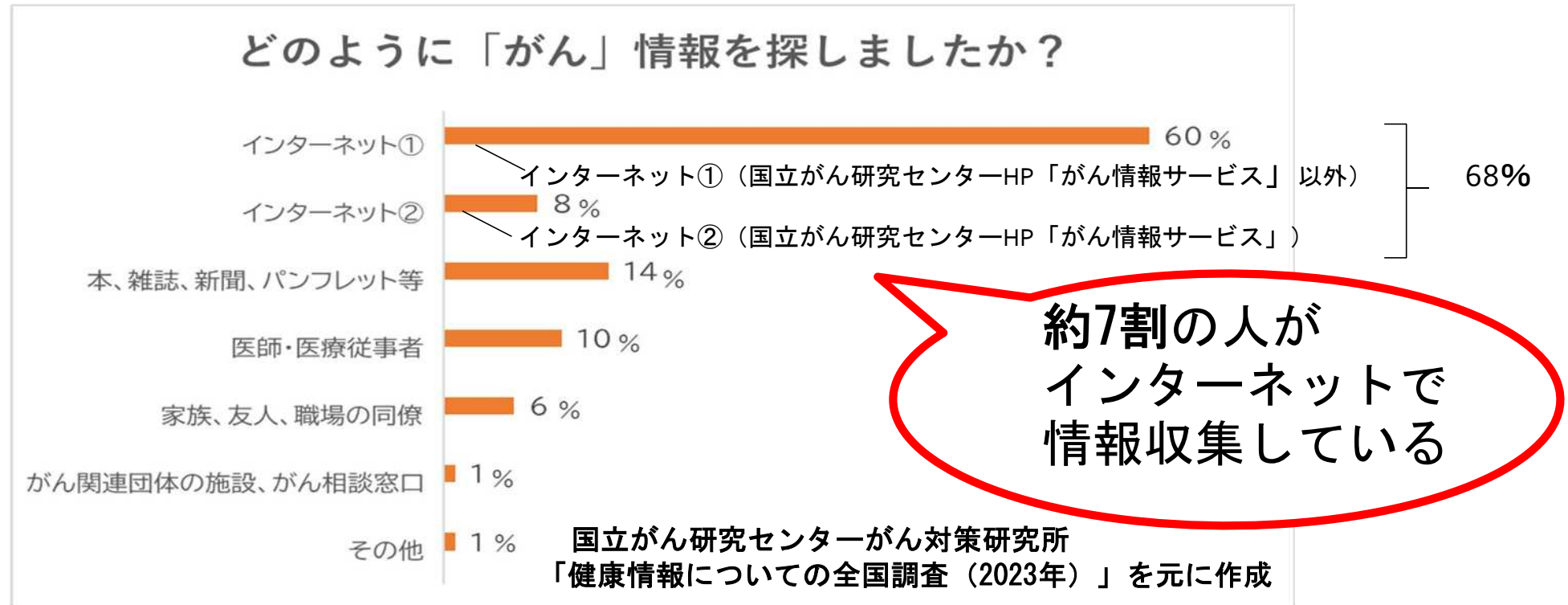
社会の変化

- パソコン、スマホ、タブレットの普及
- インターネットやSNS からの情報量増加
- AIの活用
→ 正しい情報と誤情報が混在
- 超高齢化社会の到来
→ 認知症やフレイル対策への情報需要が増加

正しい情報を得て、理解する「ヘルスリテラシー」がますます重要に！

健康・医療情報が求められている理由

■ がんに関する情報の場合



■ 情報を見極めるポイント

- か … 書いたのは誰か、発信しているのは誰か？
- ち … 違う情報と比べたか？
- も … 元ネタ(根拠)は何か？
- な … 何のための情報か？
- い … いつの情報か

出典 《健康を決める力》(<https://www.healthliteracy.jp/>)

健康・医療情報とは？

- ① 病気・治療に関する情報
- ② 心を支えるための情報
- ③ 生活を支えるための情報
- ④ 健康でいるための情報

2 県立久喜図書館が行っているサービス

(1) 健康・医療情報コーナー (平成21年度～)

図書

入門書から専門書まで

- 病気・検査・治療について
- 薬・ジェネリック
- 食事療法・栄養学
- 医療施設・医師の情報
- メンタルヘルス ほか
- 漢方・中国医学
- 診療ガイドライン



約8,800冊

データベース

最新情報はデータベースで

- 医中誌Web (医学中央雑誌刊行会)
医学・歯学・薬学・看護学関係の国内の文献情報を収録
- 最新看護索引Web (医学中央雑誌刊行会)
看護の実践・研究・教育に関する文献情報を収録
- JDreamⅢ ((株)ジー・サーチ)
日本最大級の科学技術文献データベース



雑誌

いま話題の情報なら雑誌で

- 『きょうの健康』
- 『薬のチェック』
- 『エキスパートナース』
- 『医学のあゆみ』
- 『こころの科学』
- 『総合リハビリテーション』 ほか

約60タイトル

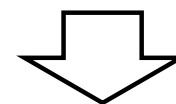
埼玉医科大学附属図書館や埼玉県立大学情報センターからの文献入手も

そのほか、専門機関等が発行しているパンフレット・チラシ (約100種類) を揃えご自由にお持ち帰りいただけます。

(2) がん情報コーナー (平成26年3月～)



- がんに関する図書
(入門書、専門書、診療ガイドライン等)
- 相談窓口・患者会の案内ちらし
- 関連パンフレット(専門機関等発行)



- ・がんについて知ることができる
(概要・治療・食事・生活と治療の両立ほか)
- ・相談窓口が分かる
- ・仲間を探す・つながるきっかけ作り

(3) 妊活・出産・育児情報コーナー (平成26年3月～)



- 妊娠や出産に関する図書
(周産期医療、妊娠中の生活、食事や薬、不妊治療に関する図書等)
- 育児関連図書
(離乳食、ホームケアに関する図書等)
- 相談窓口や関連パンフレット

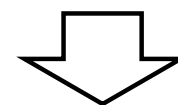


- ・妊娠・出産について知ることができる
- ・相談窓口が分かる
- ・出産後の育児を支える情報が得られる

(4) 見て・聴いて・感じる読書コーナー (平成27年度～)



- 発達障害 (子ども／大人) に関する図書
- バリアフリー読書関連資料の見本展示 (布絵本、マルチメディアデイズ、点字絵本、LLブック) ホームケアに関する図書等)
- 相談窓口や関連パンフレット



- ・発達障害について知ることができる
- ・利用できる制度・相談窓口が分かる
- ・活字を読むのが困難な方をサポートする様々な資料にふれることができる

(5) 認知症情報コーナー (令和元年6月～)



- 認知症に関する図書
(概要、ケアやサポート、制度や相談窓口、
回想法に関する図書 等)
- 関連DVD
- 相談窓口や関連パンフレット



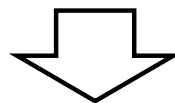
- ・認知症について知ることができる
- ・ケアの方法や、予防に役立つ情報を
を得ることができる
- ・相談窓口や仲間とつながるきっかけ作り

(6)闘病記コーナー (令和4年10月～)



● 闘病記

がん、脳の病気、心の病気などで分類し、背表紙に主題となっている病名のシールを貼って、探しやすいように工夫。



- ・病気について知ることができる
- ・同じ病気の人がその病気と「どう闘ったのか」「どう向き合ったのか」を知ることができる。

※闘病記は個人の主観によって書かれていることが多いので、治療法を探している利用者には医学書などで確認するよう案内している。



2 久喜図書館が行っているサービス

(7) 情報の判断



健康・医療情報サービス のご利用について

- 資料・情報の提供のみを行います。
- 特定の治療法や医療機関をお勧めするものではありません。
- 病気や薬に関する知識・情報は日々変わっています。ここにある情報がすべてではありません。
- 図書館員は、医学の専門家ではありませんので、病状の診断・治療等の判断をすることはできません。
- 健康・医療についての知識を深めたり、医師や医療機関と相談する材料としてご活用ください。

そのためには、利用者が正しい情報を見極めて活用できるようヘルスリテラシーの向上を支援する必要がある

3 利用者のヘルスリテラシー向上のために

(1) 講演会の開催



- ①令和5年度 健康・医療情報講演会
「耳と心の不思議な関係
～聞こえのしくみから難聴への対処まで～」
講師：杉浦彩子氏（心療耳鼻科医）



- ②令和6年度 健康・医療情報講演会
「避難生活であなたと家族の健康を守るために
～災害サイクルとタイムライン～」
講師：植田信策氏
（避難所・避難生活学会 代表理事、
石巻赤十字病院 副院長）

埼玉県立久喜図書館 令和7年度 健康・医療情報講演会

最近話題の**免疫**のこと、
どれくらい知っていますか？

お父さん・お母さんも！
アレルギーに悩んでいる方必見
イチからわかる！
免疫とアレルギー

2026年2月28日（土）
13:30～16:00（13:00開場）

講師 **中尾 篤人 氏**
（山梨大学医学部免疫学講座 教授）
『「免疫、マジわからん」と思ったときに読む本』
（オーム社 2025）著者

免疫の成り立ちやアレルギーの仕組みについて、最新の
知見にも触れながら、わかりやすくお話しいただきます。

会場 埼玉県立久喜図書館 1階視聴覚ホール
（Microsoft Teamsを利用したライブ配信も実施します）

定員 会場参加 100名 ライブ配信参加 80名
（無料・先着申込順）

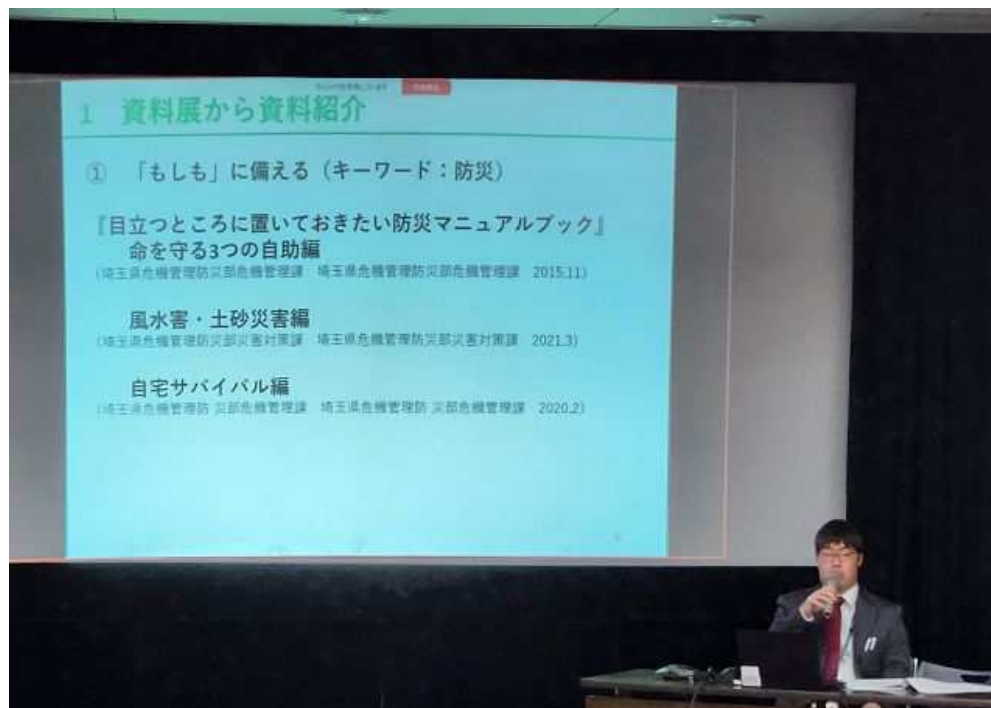
問合せ：埼玉県立久喜図書館 自然科学・技術資料担当
電話：0480-21-2659 FAX：0480-21-2791
E-mail：lib-shizen@pref.saitama.lg.jp

1/16（金）9:00から
申込受付開始
※申込 電話 ファクス メール 電子申請

講演会ウェブサイト
QRコード

- ③令和7年度 健康・医療情報講演会
「イチからわかる！免疫とアレルギー」
講師：中尾篤人氏
（山梨大学医学部免疫学講座教授）

3 利用者のヘルスリテラシー向上のために



④ 司書による調べ方ガイダンスの様子



⑤ 講演テーマにあわせた「調べ方案内」、「資料リスト」の配布

3 利用者のヘルスリテラシー向上のために

(2) 資料展の開催

年1～2回程度、健康・医療分野の資料展を開催

資料展以外にも、時事やニーズに合わせてミニ展示を実施

- ①「いざというときのヘルスケア
～事故や災害を生き抜くために～」
R7.2.4.(火)～4.24(木)



- ② 認知症月間ミニ展示
「いま知ろう、認知症」
R7.9.9(火)～9.30(火)



映画会とコラボし、会場で
ブックトークも行いました。



- ③「免疫
～微小(ミクロ)な世界への潜行～」
R8.2.3(火)～4.23(木)



(3) 調べ方案内等の提供

講演会や資料展のテーマにあわせた「調べ方案内」や「資料リスト」を作成



館内で配布
ウェブサイトに掲載

調べ方案内・資料リスト

「調べ方案内 Milestone」(久喜図書館作成)

県立図書館では、県民の皆様が調べものをする際の情報の入手方法をテーマ別にご紹介しています(「調べ方案内」)。

ここでは、その中から久喜図書館が作成した、健康・医療に関する調べ方案内をピックアップしてご案内します。

- [認知症とともに生きる\(調べ方案内 milestone No.75\).pdf \(PDF:2.0 MB\)](#)
- [健康管理に役立つ情報を調べる\(調べ方案内 milestone No.74\).pdf \(PDF:1.0 MB\)](#)
- [聞こえと健康について知る\(調べ方案内 milestone No.70\).pdf \(PDF:1.2 MB\)](#)
- [不妊症について知る\(調べ方案内 milestone No.66\).pdf \(PDF:1.2MB\)](#)
- [睡眠と健康について知る\(調べ方案内 Milestone No.65\).pdf \(PDF:1.6 MB\)](#)
- [AYA世代のがんについて知る\(2023年改訂版\)\(調べ方案内 Milestone No.64\).pdf \(PDF:2.5 MB\)](#)

「調べ方案内」とは、調べものをする際の情報の入手方法をまとめたパンフレットのことです。

3 利用者のヘルスリテラシー向上のために

(4) 情報の探しかた講座 「健康・医療情報コース」



- ・情報探しのポイント
- ・役に立つ基本図書と
ウェブサイトの紹介・実習

健康・医療情報コーナーや サービスの案内

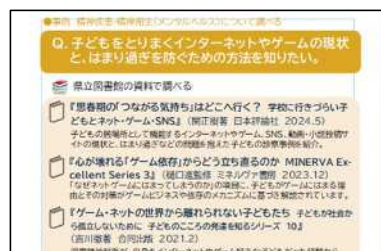


3 利用者のヘルスリテラシー向上のために

(5) 『健康・医療情報リサーチガイド@埼玉 改訂3版』



電子版も県立図書館ウェブサイトに掲載



健康・医療情報の調べ方のポイント、
図書やウェブサイト等を紹介

●平成27年より作成、改訂を重ねている
令和6年度10月全面改訂(第3版)

2つのテーマを新設

「睡眠について調べる」「耳の不調について調べる」

●紹介した全てのウェブサイトについて、
二次元コードを掲載し、スムーズに
情報にアクセス可能。

3 利用者のヘルスリテラシー向上のために

(6) 県民向けイベントに出展

▼第8回ウェスタ川越県民ふれあいフェスタ
令和7年11月2日(日)



埼玉県立がんセンター
オープンホスピタル2025夏▶
令和7年7月19日(土)



オープンホスピタル2025秋
令和7年10月4日(土)



◀県庁オープンデー
令和7年11月14日(金)

4 様々な機関との連携

県内の様々な機関と連携し、県立図書館の取組を周知するとともに多様な健康医療情報を収集・提供

(1) 疾病対策課・保健体育課との連携

がんサポートハンドブック

疾病対策課／作成

<情報源一覧>

①国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報サービス
科学的根拠に基づく信頼性の高いがん関連情報を提供して
<http://ganjoho.jp/public/index.html>

②公益財団法人日本対がん協会
がん知識の普及啓発やがん検診によるがん予防運動を全国
<http://www.jcancer.jp/>

③県立久喜図書館 がん情報コーナー（久喜市）
がんの基礎知識から診療ガイドラインまで図書約500冊と、
専門機関や相談窓口から入手したパンフレット類を御提供して
います。図書はお近くの市町村立図書館からも取り寄せられます。
まずは御相談ください。

電話 0480-21-2659

https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/health/cancer.html



がん教育指導者研修会

保健体育課／主催

小・中・高の教職員を対象とした上記
研修会で、県立久喜図書館で行って
いるがん情報サービスを紹介
(平成29年度～)

図書館でがん情報を入手する

～図書館のがん情報サービスのご紹介～



埼玉県立久喜図書館
自然科学・技術資料担当 司書 福士

4 様々な機関との連携

(2) 病院との連携

情報の探しかた講座

「『医中誌Web』を使ってみよう」の講師に、埼玉県済生会加須病院の病院図書室司書を招いて実施

基礎から学ぶ「医中誌Web」

～データベースを使って論文を探そう～
令和7年10月22日(水)

「医中誌Web」を使いこなす

～データベースの一步進んだ検索法～
令和7年10月29日(水)



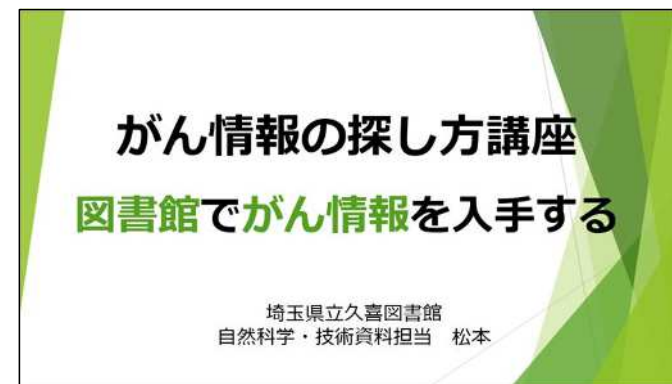
4 様々な機関との連携

(3) がん患者会との連携

- がん情報コーナーでは、患者会・支援団体のパンフレット類を常備（約20種類）



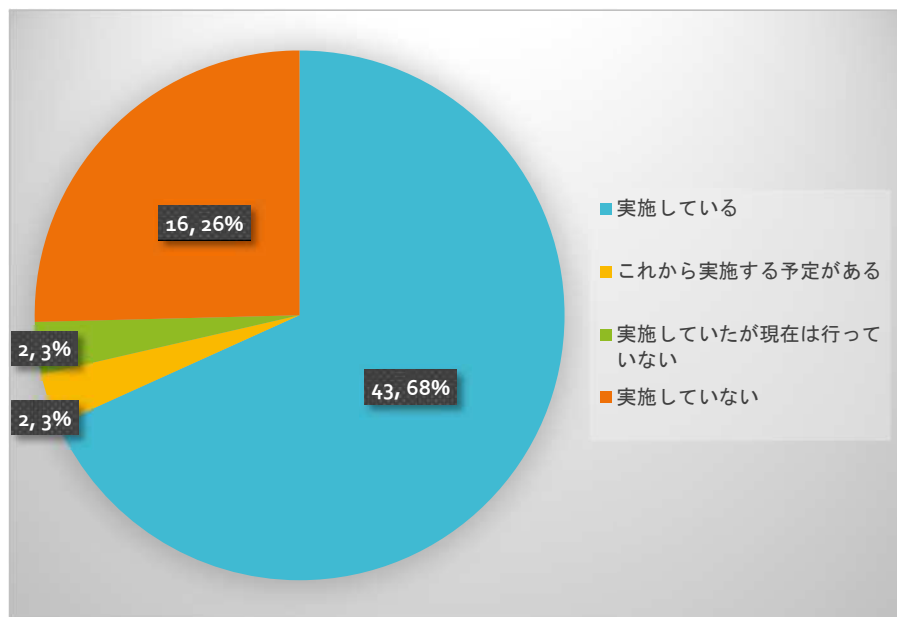
- がん患者会すみれ会主催の研修会「がんピアサポーターを考える会」に図書館司書を派遣。研修会では、信頼できるがん情報の探し方を紹介
令和5年11月11日（土）
令和6年11月17日（日）



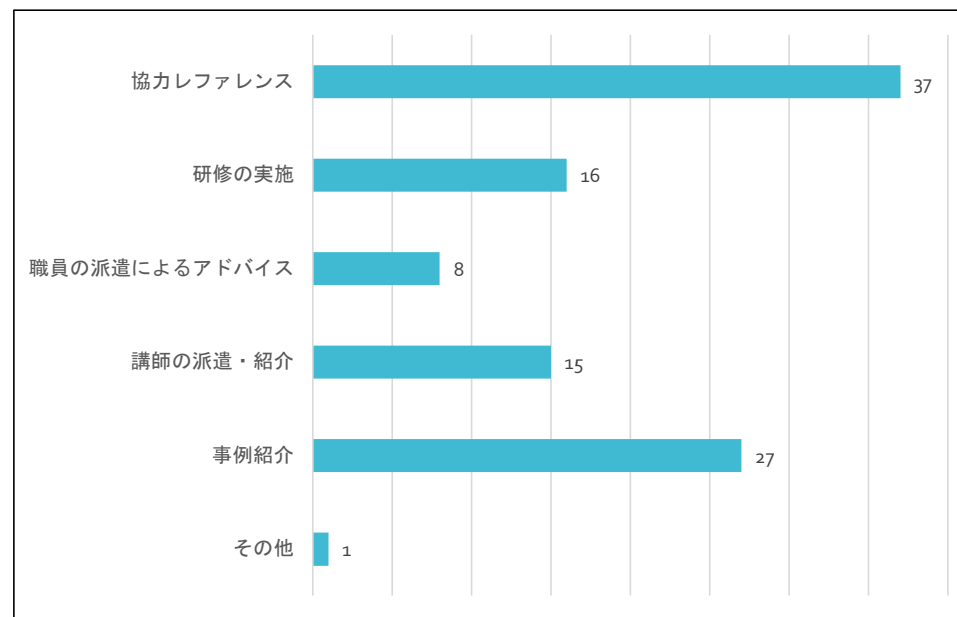
5 市町村立図書館への支援

(1) 県内市町村立図書館における健康・医療情報サービスの現状

① 健康・医療情報サービスの実施状況



② 県立図書館に期待すること



令和7年9月実施
埼玉県図書館協力調査
「図書館における健康・医療情報サービス／ビジネス支援サービスの実施」より

(2) レファレンス事例

① PTSDについて、
どんな病気か
精神分裂病（統合失調症）
との関連について知りたい。

② 「〇〇〇〇〇」という医学論文
を利用（閲覧・複写）する方法
について知りたい。

③ 人間ドックを受診し、消化器系
で再検査となった場合、一般的な
再検査方法はどのようなものがあるか。

現在の血液検査ではどのような
ことが分かるか。／ 内視鏡を使
わない方法があった場合、どのよ
うな病院で受診できるか。

(3) 健康・医療情報サービス研修会の開催

- 平成30年度 基礎研修(講演会形式)
専門研修(4回連続講座)
- 令和元年度
フォローアップ研修として、講演会形式2回、
ワークショップ講座1回
- 令和2年度 テーマ:がん情報について
- 令和3年度研修会 テーマ:読書療法について
- 令和4年度研修会 テーマ:認知症について
- 令和5年 テーマ:健康コレクションマネジメント
と健康情報の評価
- 令和6年度 テーマ:高齢者サービス



近年は、会場+オンライン(後日配信含む)の
ハイブリッド形式で開催

5 市町村立図書館への支援

令和7年度研修会

- 講演「健康医療分野のコレクションマネジメントと利用者サービス」
慶応義塾大学文学部人文社会学科 教授 池谷 のぞみ 氏
- 「埼玉医療関連情報ネットワーク協議会のご紹介と病院図書室の
レファレンス対応」
埼玉石心会病院 司書 成田 ナツキ 氏
埼玉県済生会加須病院 司書 深谷 里子 氏
- 「埼玉県立久喜図書館の実践事例 ―近年の連携事業について―」
埼玉県立久喜図書館 自然科学・技術資料担当 司書 鈴木 麻友

※ 病院図書室とは、院内に設置された
医療関係者のための図書室



(4) 市町村立図書館への訪問相談

令和5年度から、希望する市町村立図書館を訪問した運営相談も実施

■ これまでに受けた相談内容から抜粋

- ・健康・医療情報サービスの始め方について
- ・耳が聞こえにくい方への対応は？
- ・情報の鮮度を考えて、除籍や除架を頻繁に行うべきか？
- ・医療機関や学会、団体と連携して行っている事業はあるか？
- ・選書ツールや市町村にもおすすめのシリーズは何か？

課題① 県民への効果的な周知

県立久喜図書館の健康・医療情報サービスを、
より多くの県民に届ける

取組

- ・埼玉県公式LINE等、広報力のあるツールの活用
- ・イベント出展等、図書館の外に出て情報発信

課題② 介護・医療関係者への情報支援

取組

- ・介護・医療関係者向けの資料、情報の収集
- ・病院関係者や看護学生等へサービスを周知

課題③ 市町村立図書館との連携・協力

取組

市町村立図書館からの個別相談に応じる
とともに、取組や事例の共有

課題④ 図書館職員のスキルアップ

取組

- ・外部の研修に職員を派遣
- ・講座等の講師に招いた大学教授や病院関係者と連携した情報の収集・活用

ご清聴ありがとうございました！



図書館と県民のつどい埼玉 2025 の開催結果について

1 開催日

令和7年12月14日(日) 11:00～16:00

2 会 場

桶川市民ホール・さいたま文学館(桶川市若宮1-5-9)

3 内 容

日	区 分	内 容
12月14日	ビブリオバトル	中学生のビブリオバトル(知的書評合戦) バトラー 中学生25名
	こども読書活動 交流集会	わらべうた実践講座 「おはなし会でわらべうたを!～乳幼児から小学生に～」 講師 吉田 優子 氏・平田 潤子 氏
		学校図書館講座 「多様な子どもたちへの読書支援 ～特別支援学級での取り組みを中心に～」 講師 吉井 嘉奈子 氏、事例発表 村上 勅江 氏
		こどもの本のひろば おすすめ本の紹介展示、工作
	展示・体験 さまざまな図書館 展示	公共図書館・高校図書館・大学等図書館の活動紹介 協賛企業展示 等
延べ参加者数 1, 121人		



4 結 果

(1) アンケート集計結果概要 【回答数 137】 ※ () : 昨年度実績

◎お住まいはどちらですか? 【有効回答数 120】

県内	県外
99.2% (89.9%)	0.8% (10.1%)

◎「図書館と県民のつどい埼玉」に参加されたのは、はじめてですか?

はじめて	2～5回目	6回目以上
52.2% (64.5%)	34.3% (27.5%)	13.4% (8.0%)

◎全体の内容はいかがでしたか?

満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
46.5% (78.7%)	40.9% (18.2%)	7.1% (2.8%)	4.7% (0.3%)	0.8% (0.0%)

参考…満足・やや満足計 2024 : 96.9%、2023 : 93.6%、2022 : 97.2%

(アンケート抜粋)

☑ 多様なブースがあり楽しく学びました。

☑ 講演会がなくて残念でした (同趣旨の回答多数)。

◎ わらべうた実践講座の内容はいかがでしたか?

満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
86.2%	10.3%	3.4%	0.0%	0.0%

(アンケート抜粋)

声 大切にしなければいけないことを伝えていただき、実践する中での具体的に細かい注意点の説明があり、とても有意義でした。

声 無料では申し訳ない、とても素晴らしい内容でした。

◎ 学校図書館講座の内容はいかがでしたか？

満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
73.3%	23.3%	3.3%	0.0%	0.0%

(アンケート抜粋)

声 お二方の実践がとても具体的で、自分もやってみようと思うことがたくさんありました。

声 ただ司書課程を取っているだけの大学生が参加して大丈夫かなと思いましたが、大学の講義で扱われた絵本なども多く、非常に楽しめました。

◎ ブックケア講座の内容はいかがでしたか？

満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%

(アンケート抜粋)

内容に係る具体的な記述は特になし。

◎ 展示等について

(アンケート抜粋)

声 初めてビブリオバトルを見ました。工夫されていて驚きました。生徒が堂々としていて驚きました。

声 運営の方々がきさくで、体験コーナーに参加しやすかったです。ありがとうございました。

声 工作も立体オーナメントも作れてよかったです。

声 ポスターにあった「ビブリオバトル」の言葉に惹かれて参加し、内容にもとても満足しました。

実際に会場に行き、このアンケートを見て、他にも多くの企画があったことを知りましたので、来年はもう少し時間に余裕を持って参加したいと思います。